



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
 コード番号 9308 URL <https://www.inui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一井 聡 TEL 03-5548-8613
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	24,437	10.7	3,765	223.1	3,947	217.4	4,324	464.6
2024年3月期第3四半期	22,080	△38.8	1,165	△90.8	1,243	△90.4	765	△92.0

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 5,043百万円（441.9%） 2024年3月期第3四半期 930百万円（△90.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	172.15	—
2024年3月期第3四半期	30.54	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	74,150	36,267	48.9	1,443.06
2024年3月期	66,505	31,618	47.5	1,259.76

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 36,267百万円 2024年3月期 31,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	11.28	14.28
2025年3月期	—	6.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	69.76	75.76

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,376	9.8	3,513	109.3	3,619	88.8	5,008	319.1	199.26

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2 プラザ勝どきの建替えの影響等について、一定の前提を置き算出しております。前提条件等の詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	26,072,960株	2024年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	940,482株	2024年3月期	974,493株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	25,118,132株	2024年3月期3Q	25,077,351株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計上の見積りの変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の上昇や為替、所有船舶4隻の売却の影響等により、売上高は前年同期比2,356百万円増収(+10.7%)の24,437百万円、営業利益は前年同期比2,600百万円増益(+223.1%)の3,765百万円、経常利益は前年同期比2,703百万円増益(+217.4%)の3,947百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3,558百万円増益(+464.6%)の4,324百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、中東情勢の緊迫化やそれに伴う紅海航路の回避等が市況を押し上げることとなり、前年度に比して堅調な市況が続く結果となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループの平均為替レートは¥152.30/対US\$ (前年同期は¥142.26) となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比2,569百万円増収(+16.2%)の18,379百万円、セグメント利益は前年同期比2,841百万円増益の2,685百万円となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期を下回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、文書保管の取扱高の増加があった一方で、連結子会社の引越業における取扱高が減少したことにより、売上高は前年同期比31百万円減収(△1.1%)の2,814百万円、セグメント利益は前年同期比78百万円増益(+58.3%)の214百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、大型オフィスの供給の影響がある一方で、企業の本社移転や出社回帰の流れによる館内増床の動きがあることから、平均空室率は低下傾向が見られます。また、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアは都心へのアクセスが良く、大型都市開発が続き、都心居住エリアとしての人気の上昇もあり、市況は好調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、主力施設の一つであるプラザ勝どき(1987年12月竣工)の再開発計画に伴う立ち退き移転の推進により稼働率が減少してきていることから、売上高は前年同期比181百万円減収(△5.3%)の3,243百万円、セグメント利益は前年同期比294百万円減益(△15.5%)の1,597百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末比7,645百万円増の74,150百万円となりました。負債は、未払法人税等や借入金の増加等により前連結会計年度末比2,996百万円増の37,883百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比4,649百万円増の36,267百万円となりました。

この結果、自己資本比率は47.5%から48.9%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して9,925百万円増加し、23,905百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果として獲得した資金は、6,974百万円（前年同期は610百万円の資金の使用）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益5,699百万円、減価償却費2,342百万円、減損損失2,486百万円、固定資産売却益4,289百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果として獲得した資金は、1,883百万円（前年同期は3,239百万円の資金の使用）となりました。これは主として、固定資産の取得による支出2,500百万円、固定資産の売却による収入4,422百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果として獲得した資金は、510百万円（前年同期は3,774百万円の資金の使用）となりました。これは主として、長期借入れによる収入8,466百万円、長期借入金の返済による支出7,517百万円、配当金の支払額434百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2025年3月期）の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2024年11月8日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上並びに2025年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当四半期連結累計期間実績 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	第4四半期前提 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	1 5 2 . 3 0	1 5 7 . 0 0
燃料油価格 (米ドル/MT)	5 9 9 . 0 0	6 3 1 . 8 7

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,252	24,228
営業未収金及び契約資産	1,506	1,329
繰延及び前払費用	723	475
貯蔵品	1,312	1,091
その他	2,830	2,118
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,625	29,244
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	15,439	13,678
建物及び構築物（純額）	10,259	8,354
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,300	3,200
信託土地	204	204
建設仮勘定	8,674	10,726
その他（純額）	614	551
有形固定資産合計	39,626	37,848
無形固定資産	130	83
投資その他の資産		
投資有価証券	4,324	5,086
退職給付に係る資産	11	1
その他	1,795	1,895
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,122	6,975
固定資産合計	45,879	44,906
資産合計	66,505	74,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,865	1,871
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	7,682	3,377
未払法人税等	6	1,111
契約負債	346	160
賞与引当金	100	29
その他	543	615
流動負債合計	13,254	9,875
固定負債		
長期借入金	18,281	23,920
繰延税金負債	595	852
退職給付に係る負債	69	73
受入保証金	1,337	1,361
特別修繕引当金	730	576
その他	617	1,222
固定負債合計	21,632	28,007
負債合計	34,887	37,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,668	11,674
利益剰余金	16,763	20,654
自己株式	△953	△919
株主資本合計	30,246	34,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,385	1,915
繰延ヘッジ損益	△13	175
その他の包括利益累計額合計	1,371	2,091
純資産合計	31,618	36,267
負債純資産合計	66,505	74,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	22,080	24,437
売上原価	19,775	19,520
売上総利益	2,305	4,916
販売費及び一般管理費	1,139	1,150
営業利益	1,165	3,765
営業外収益		
受取利息	154	161
受取配当金	102	123
為替差益	157	242
その他	21	27
営業外収益合計	436	555
営業外費用		
支払利息	284	296
借入手数料	58	45
その他	15	31
営業外費用合計	358	373
経常利益	1,243	3,947
特別利益		
固定資産売却益	1	4,289
特別利益合計	1	4,289
特別損失		
固定資産除却損	0	7
減損損失	—	2,486
その他	—	43
特別損失合計	0	2,537
税金等調整前四半期純利益	1,243	5,699
法人税、住民税及び事業税	404	1,408
法人税等調整額	73	△33
法人税等合計	478	1,375
四半期純利益	765	4,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	765	4,324

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	765	4,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	453	530
繰延ヘッジ損益	△288	189
その他の包括利益合計	164	719
四半期包括利益	930	5,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	930	5,043
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,243	5,699
減価償却費	2,345	2,342
減損損失	—	2,486
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	△71
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	9	△154
受取利息及び受取配当金	△257	△285
支払利息	284	296
為替差損益(△は益)	△37	△221
固定資産売却損益(△は益)	△1	△4,289
売上債権の増減額(△は増加)	281	545
契約資産の増減額(△は増加)	72	△367
繰延及び前払費用の増減額(△は増加)	61	315
貯蔵品の増減額(△は増加)	134	220
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,006	1
契約負債の増減額(△は減少)	18	△186
未払費用の増減額(△は減少)	40	39
未払又は未収消費税等の増減額	43	△30
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△20	24
その他	△386	170
小計	2,761	6,540
利息及び配当金の受取額	237	252
利息の支払額	△271	△290
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,337	470
営業活動によるキャッシュ・フロー	△610	6,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,126	△2,500
固定資産の売却による収入	0	4,422
投資有価証券の取得による支出	—	△50
長期貸付けによる支出	△1,108	—
その他	△5	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,239	1,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25	—
長期借入れによる収入	2,984	8,466
長期借入金の返済による支出	△2,214	△7,517
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△4,512	△434
その他	△6	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,774	510
現金及び現金同等物に係る換算差額	394	556
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,229	9,925
現金及び現金同等物の期首残高	20,576	13,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,347	23,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、プラザ勝どきの再開発計画に伴い、アスベストに関する詳細な調査を行った結果、アスベスト撤去費用に関する新たな情報を入手したため、資産除去債務の見積りを変更しました。

この見積りの変更による増加額651百万円を変更前の資産除去債務に加算しております。なお、当該見積りの変更に伴って計上した有形固定資産について減損損失を計上したため、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	15,810	2,845	3,424	22,080	—	22,080
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	22	22	△22	—
計	15,810	2,845	3,446	22,102	△22	22,080
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△155	135	1,891	1,870	△704	1,165

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△704百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△704百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	18,379	2,814	3,243	24,437	—	24,437
セグメント間の売上高又は振替高	—	0	23	23	△23	—
計	18,379	2,815	3,266	24,460	△23	24,437
セグメント利益	2,685	214	1,597	4,496	△731	3,765

- (注) 1. セグメント利益の調整額△731百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△731百万円でありま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、プラザ勝どきの再開発計画に伴う営業終了を受け、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,486百万円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。